

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-I-24

4-I
-24

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	モデルコースの設定
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	24 構成資産間モデルコースの設定、情報提供等		事業主体	佐渡市観光振興課
			関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡観光協会
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】			
	○ モデルコースを設定し、その周知により、来訪者の構成資産間の円滑な移動を図る。			
事業概要	【事業内容】			
	○ 西三川・鶴子・相川等各資産間の円滑な移動や、関連する観光施設を取り入れたモデルコースを設定し、モデルツアーを実施する。			
事業実績	【事業成果】			
	● モデルコース、コースに基づくガイド養成プログラムを作成した。			
今後の取組・課題	【課題】			
	<p>■ モデルコースを案内するガイド養成を行い、観光客のニーズにあったコース作成を進めている。</p> <p>今後、観光客の求めるニーズや観光時間に合わせたコース作成が課題である。</p>			
事業評価	【今後の取組】 ■ H29中に来訪者の導線の確立を行う。			
	<p>【事業の達成度】 [a・(b)・c]</p> <p>◇ モデルコースを検討し、ガイド養成プログラムを作成したことから、概ね計画どおりに進んでいる。</p> <p>【事業実施の効果】 [a・(b)・c]</p> <p>【総合評価】 [A・(B)・C]</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。